

単元名 おもちやと おもちや

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 拗音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。
(2) 語と語の続き方に注意することができる。
(3) 唱え歌を楽しみ、拗音のある言葉をたくさん見付けようとする。

標準的な展開例

01010111_001

【教材名】おもちやと おもちや (上 P. 60～P. 61)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 拗音の読み方と書き方を理解する。</p> <p>★小さい「や」「ゆ」「よ」の付く言葉を読んだり書いたりしよう。</p> <p>○教科書(P. 60)の唱え歌を、リズムに気を付けて読み、「おもちや」と「おもちや」の言葉の違いに気付く。</p> <p>○教科書(P. 61)の拗音のある言葉を読んだり書いたりする練習をする。</p> <p>2 拗音のある言葉を使って文を書く。</p> <p>○拗音のある言葉を集めて、ノートに書いたり交流したりする。</p> <p>○「—へ—。」という助詞「へ」を使った文を書く。</p>	<p>・何度も声に出して言えるよう、一文ずつ読んだり、男女で分かれて読んだりするなど、読み方の工夫をする。</p> <p>・手をたたきながら読ませることで、音節を意識させる。</p> <p>・拗音は、まず目の右上4分の1の場所に書かせる。</p> <p>・文を音読してから、書くようにする。</p> <p>・身の回りの物から探させる。</p> <p>【評】唱え歌を楽しみ、拗音のある言葉を見付ける活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】拗音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使う活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】文を作る活動を通して、語と語の続き方に注意して書く「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】